

1. 開会 進行：青田生涯学習課係長
2. あいさつ 西本教育長
3. 委嘱状交付 机上交付（3団体の代表者交代に伴う交付）
4. 委員自己紹介 各委員及び事務局
5. 委員長・副委員長の選出について  
・井上委員を委員長、山本委員を副委員長に選出。
6. 報告  
三木市教育の基本方針について } 近藤生涯学習課長より説明（6分間）
7. 議事  
令和元年度社会教育施策の推進について } 各課長、館長、所長より説明（28分間）

**【質疑応答】**

(井上委員長)

- ・では、「令和元年度社会教育施策の推進について」、質問等ある方は挙手にてお願いいたします。

(西田委員)

- ・資料4ページ、1番目の「社会教育団体の育成支援に関すること」で、老人クラブが入っていないので加えられないか。老人クラブは会員数が減っているのに、高齢者大学の卒業生に加入してもらい、地域のリーダーとして活躍してもらいたい。

(近藤生涯学習課長)

- ・老人クラブは福祉課の所管となっているため、ここにはあえて名前を入れていない。所管の違いということでご理解いただきたい。

(井上委員長)

- ・福祉施策で老人クラブは福祉課から補助金をもらっているが、社会教育の大きな組織としての位置づけがあることを忘れないようお願いする。

(國井委員)

- ・別所ふるさと交流館がずっとお昼の定食で餃子を出していてマンネリなので、どうにかできないか。

(近藤生涯学習課長)

- ・別所ふるさと交流館の定例会で議題にあげ、また新たなメニューを考えていきたい。

(佐藤委員)

- ・教育センターの業務内容で、「中高年コンピューター教室をトライ・やるウィークと連動して実施」とあるが、具体的にどういう取り組みなのか教えてほしい。

(橋本教育センター所長)

- ・昨年度の取り組みとしては、年賀状の作成等様々な画像の作成について、中学生が教えるというもので、中高年の方のニーズに合わせて作業を進めています。

(井上委員長)

- ・トライ・やるウィークの一週間だけではなく、年に数回やるとかはできないのか。

(富田委員)

- ・昨年のトライ・やるウィークは、11月11日からの一週間、市内の中学2年生が活動をしているが、できれば年間を通じて子どもたちの社会性を育てていければと考えている。

(井上委員長)

- ・トライ・やるウィークを通じて子どもたちの交流を広げていってほしい。

(兼貞委員)

- ・トライ・やるウィークに参加する子どもたちのあいさつを指導している中で感じたことがある。家庭内でのあいさつができていないようだ。こういったことは、低学年のときからの道徳教育が大事だと思う。

(井上委員長)

- ・これまであいさつ運動をやってきた婦人会がなくなってしまったことが大きいと思う。行政の中でも一度考えていただきたい。

(國井委員)

- ・朝の通学時間帯の7時20分から8時15分まで交通指導員をしています。こちらからあいさつをしても、あいさつをする子どもとしない子どもがいる。

(井上委員長)

- ・地域の中で、知らない人に声をかけられてもこたえてはいけないと教えられているのかもしれない。寂しいかぎり。

(西田委員)

- ・老人クラブとして人の目の垣根隊の会員を募集をしているが、応じる人が減ってきている。みんなで地域の子どもを守るにはどうしたらよいか。それと、人の目の垣根隊の服はもらえたが、子どもたちが横断歩道を渡る際の旗が不足している。

(井上委員長)

- ・人の目の垣根隊に係る要望が出た。行政も関係があると思うので検討いただきたい。

(兼貞委員)

- ・以前、図書館の自転車置き場が落ち葉で埋まっていた。どういう管理になっているのか。

(伊藤中央図書館長)

- ・週3回清掃委託先のシルバー人材センターが掃除をしている。その時はたまたまかもし

ないが、申し訳ございませんでした。

(西田委員)

- ・三木山総合体育館の冷房代が5,000円いる。7～8時間は使うので。老人会で使うので安くないか。それとニュースポーツの機材は買うと高いので、何とかならないか。

(金井文化・スポーツ課長)

- ・三木山総合体育館の冷房代は、条例で有料となっているため、ご理解をいただきたい。ニュースポーツのスナップゴルフ、グランドゴルフ等の機材は、貸し出し可能のものがあるのでご利用いただきたい。

(井上委員長)

- ・光熱水費は仕方ないと思う。

(井上委員長)

- ・細川町公民館の乳幼児学級に申し込みをしたら、登録がない人は参加できないと断られたという話を聞いたが、どうなっているのか。

(狩場細川町公民館長)

- ・乳幼児学級については、春に申し込みをしてもらって通級している方を対象としているので、途中参加の申し込みについてのお断りしたのだと思う。今後は柔軟な対応をしていきたい。

(井上委員長)

- ・今年度はラグビーワールドカップがあり、今後3年間はゴールデンスポーツイヤーズといわれているが、市では何か具体的なことは考えているのか。

(金井文化・スポーツ課長)

- ・三木市では、東京オリンピックにおいてはフランスの陸上競技代表チーム、東京パラリンピックにおいてはネパールのテコンドー代表チームのホストタウンとして、事前合宿を受け入れました。その中で、世界レベルの選手と交流する貴重な機会として、市民との交流イベントを企画しました。4月29日に三木総合防災公園で、フランス陸上競技代表チームの交流イベントを開催し、8月10日にはネパールのパラリンピックテコンドー代表チームの交流イベントを予定しています

(山本副委員長)

- ・近年、貧困家庭が増えてきているが、行政としてはどう考えているのか。具体的な事をお聞きしたい。

(奥村教育振興部長)

- ・三木市教育委員会では、教育についての公平を図るために就学援助の制度を設け、経済的な理由により、小・中学校へ就学させることが困難と認められる児童生徒の保護者の方へ、学校で必要とされる費用の一部を援助しています。

(山本副委員長)

- ・高等学校や大学への進学についても何か援助があるのか。

(井上委員長)

- ・三木市にも、高等学校や大学へ進学する学生のための独自の奨学金制度がある。

8. その他

東播磨・北播磨地区、県・近畿・全国社会教育委員協議会関係予定 } 青田生涯学習課係長より説明  
(6分間)

9. 閉会

あいさつ 山本副委員長

～午後 12 時 05 分終了～

記録者 青田生涯学習課係長